



国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場ロータリークラブ

週報



御殿場ロータリークラブ
モバイルサイト

第2688回 例会プログラム

- 例会場／東山荘講堂
- 国家斉唱
- 開会点鐘／12:30
- ロータリーソング／四つのテスト
- 内容／(職業奉仕月間に因んで)
職業奉仕と経営コンサルタントについて
久保田勇輝君

会 員 慶 事

- 会員誕生日／2月4日 鎌野篤志君
- 夫人誕生日／2月6日 渡辺修司君 ご夫人 弘美様
- 結婚記念日／2月3日 稲葉博之君 咲子様 ご夫妻
- 2月3日 内海宣彦君 良 様 ご夫妻
- 2月4日 小野寛幸君 玉枝様 ご夫妻
- 2月7日 戸栗太平君 久美子様 ご夫妻
- 皆 出 席／1月30日 橋本喜市君 (ロータリー歴26年)

会 長 挨 拶

勝 又 誠



以前、神谷高義君がシェルドンがなぜロータリーを退会したのかを大変気に掛けていましたが、私も気になったので調べてみました。
シェルドンは1868年生まれで米山梅吉と同年です。1908年40歳の時にシカゴRCに入会、1921年エジンバラ国際大会の「ロータリーの哲学」という講演を最後にロータリーとの関わりを絶ち1930年62歳の時に退会しました。シェルドンは経営学の専門家でありかつ教育者であって彼の頭の中にあっただのは、いかに合理的で道徳的な企業経営をして事業を継続的に発展させるかを教えることであり、「親睦」と「相互扶助」の団体でしかなかったロータリークラブに職業を通じて社会に貢献するという職業奉仕の理念を提唱することでした。彼のモッ

トーは「He profits most who serves best (最もよく奉仕する者、最も多く報われる)」で表されていますが、1921年頃から純粋な経営学の単語として使った「profits」は物質的な富であり精神性と倫理感の少ない次元の低い言葉だとしてイギリスを中心にシェルドンのモットーの排斥運動が起こり日本でもたびたび廃止の議題が出ました。1923年「He profits…」と「Service above self (超私の奉仕)」の両方が対等な形でロータリーの奉仕理念とされ、更に1927年に導入された四大奉仕の制度によりシェルドンの職業奉仕理念は四分の一の理念に格下げされた格好になりました。1929年の国際大会では否決はされましたが、「He profits…」を廃止する決議案が提出され、この時には身体障害児対策の方をロータリーの最優先課題とすることが決定しています。このような経緯からシェルドンは大きな屈辱感を覚え、ロータリーを去ったのではないかと伝えられています。



会長挨拶用
QRコード

1/26の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
54名	49名	41名	83.67%	100%

欠席者 (8名)

橋本喜市君 池上 司君
井上 元君 神谷高義君
勝又 淳君 小早川豊一君
根上眞一君 渋谷 一君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

1/12のメーキャップ

1月24日 ワールド大阪ロータリーEクラブ 秋田 敬君
1月14日 北海道2500ロータリーEクラブ 森田義彦君
1月23日 北海道2500ロータリーEクラブ 中溝敬之君
1月6日 北海道2500ロータリーEクラブ 根上眞一君
1月20日 セセラギ三島ロータリークラブ 長田富夫君
1月25日 北海道2500ロータリーEクラブ 渋谷 一君
1月16日 ワールド大阪ロータリーEクラブ 菅沼良将君
1月25日 北海道2500ロータリーEクラブ 豊山 篤君
1月14日 東京ピースウィングロータリーEクラブ 山内強嗣君



IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

次 回
2月9日の
例 会

★東山荘講堂 (Zoomにて) ★12:30 点鐘
★(平和構築と紛争予防月間に因んで)
ウクライナから日本に避難してきた方々の現状と
YMCAの取り組み 日本YMCA同盟 石橋英樹様

年男大いに語る その2



白井良太君

今年で72歳になりますが、まさこんなに長生きするとは思いませんでした。父は1982～83年にこのクラブの会長を務めました63歳で亡くなっています。

ゴルフの話になりますが富士国際ゴルフ倶楽部の経営が三甲グループに変わり、会員主体の倶楽部にするために色々な委員会を作り、私は今年度からハンデキャップ委員会のメンバーとなりました。自分自身がハンデキャップを持っていないので、昨年からはOKなし・リプレースなしで毎回スコアカードを出しています。20歳の時に富士平原ゴルフクラブでハンデキャップ9をいただいてから50年ぶりにハンデキャップを貰いますので少しだけ真剣にゴルフを頑張ろうと思います。暮れから正月にかけて身内や友達など3人を亡くしました。みな60～70代でした。そろそろ終活を始めようかなど考えるようになりましたが未だにどうしたら良いか分かりません。林準さんのように次の年男まで健康に留意してゴルフができたらと思います。



勝又安彦君

私が生まれた1963年の出来事…まさに巨人・大鵬・卵焼きの時代でした。内閣は池田勇人内閣、アメリカではケネディ大統領が暗

殺され、力道山も刺殺されました。世間では伊藤博文の千円札発行、鉄腕アトムが始まった年、サインペンやベープ蚊取りマット、ノンスメルなども発売されました。驚いたことにこの年すでに「TPO」や「OL」と言う言葉が流行語になっていました。とにかく親が言うには、38年豪雪などがあつたりしてとても寒かったようです。私は共立病院で生まれたのですが、当時はストーブもそんなになくて病室の壁に毛布を張って凌いだらしいです。今も寒がりなのはそのせいでしょうか？

時は流れて20年後の1983年の出来事…大学生の頃はDCブランドが流行するなどバブルの前兆でした。ファミコン、おしん、青木功がハワイアンオープンで優勝したのもこの年でした。



林 則夫君

私も今年還暦を迎えることになりました。ロータリークラブに入会させていただき、早いもので10年6ヵ月が経ちました。

その間多くの先輩方にお世話になり、私なりに色々なことを学ばせていただきました。3年前に発生した新型コロナウイルスは、ロータリークラブにも予想外の影響を及ぼしました。特に例会が数ヵ月にわたって休会になった時には、日常生活の一部を失ってしまったような寂しさを感じました。それと同時にロータリークラブにおいて例会が如何に大切なものであるかを再認識いたしました。私は例会こそがロータリーの基本であると思いますので、例会に臨む姿勢を大切にしていきたいと考えております。そして例会という場を通して、まずはできるだけ多くの会員と親睦を深めていきたいと思っています。今年も1年どうぞよろしくお願いいたします。



勝亦敦志君

25年前の学生時代にヨーロッパを1人で貧乏旅行していた時、フランスの安宿で知り合った日本人学生から葡萄摘みの日雇いバイトに誘われました。ワインの原料となる葡萄を摘んで工場に運ぶだけの簡単な仕事で昼飯付きということで引き受けました。集まったのは、私と同じような暇人日本人学生やバックパッカーなど総勢30名ほど。作業は単純なのですが、その農場が途方もない広さで午前中の作業が終わる頃には来たことを後悔していました。その後昼食となったのですが、大きなテーブルにパンとチーズ、そしてトマト味の煮込み鍋が大盛で置いてあり全て食べ放題。その煮込みに使われていたのが兎の肉でした。初めて兎の肉を食べましたが美味しかったのを今でも覚えています。その時から早四半世紀、当時の無鉄砲な行動力を思い起こし、今年は飛び跳ねる兎の様な飛躍の年にしたいと思います。



司会
中溝敬之君



出席報告
菅沼良将君



会員誕生日
山崎伊久雄君



会員誕生日
勝又安彦君



皆出席
渡辺修司君

1/26のスマイル

今年は年女、厄年、八方塞がりですが、あまり気にせず元気に過ごしたいと思います。

事務局 遠藤舞さん